

山行番 NO. 1667  
日時 2016. 1. 10 (日) 快晴、殆ど無風  
山域 高松山 (801.4m・神奈川県松田町)  
コース 下土狩発6:07ー長泉なめり6:10ー裾野6:14ー山北6:58ー山北駅発7:10ー尺里峠9:15ー高松山10:10 (昼食・休憩)ー高松山発11:35ー  
ビリ堂11:55ー山北駅13:15  
標高差 上り=高松山入口約90m~高松山801m=約711m  
下り= "  
参加者 CL後藤、勝又陽、室伏、秋山、勝又薫、峰田、長谷、沖 =8名

## 2016年の登山はさわやかハイキングで幕開け

2016年の初登山は丹沢山塊・松田町の高松山、標高801.4mで天気さえよければ正月で鈍った体の動かし初めにはもってこいの山のような。参加者8名の行いも良かったのか幸いにも快晴、無風状態で絶好のハイキング日和となった。

始発の御殿場線で山北駅に。家を出るころはまだ暗闇状態である。日曜日の始発にも関わらず結構乗客が多いがやはり御殿場で随分下りた。こんなに早く皆さん何処に行くのでしょうか。電車ではまだ若い車掌さんが車内乗車券販売に何度も車内を往復して真面目そのものと言った感じで、無人駅が多い御殿場線でもこんなに熱心に車内販売をしている車掌はお目にかかったことはなかった。

電車内での話・・・室伏さんが昨年末ついに念願?の金時山に初登頂したそうです。おめでとう。

6時58分定刻に山北駅到着、下りた人は我々8人と3名? (いずれも登山のよう、聞くと同じく高松山に登山だとか)。その他誰も下りないのにタクシーは3台も客待ち。

トイレを済ませ、年頭の挨拶・予定等の説明と掛橋さんの近況、回復にはもうしばらく時間が掛かるなどの報告があり、早く復帰できるよう願うばかりだ。7時10分予定通り駅前の通りを東に歩き始める。約20分で東名高速の下をくぐり高松山入口に到着。高松山から下りに通る“ビリ堂”への分岐を経てここから林道をひたすら登り尺里(“ひさり”と読む・・・読めないよね)峠へ。

途中に滝があり、やまゆりが咲く場所とも思えないが“やまゆりの滝”との看板があった。くねくねした林道は日が当たらなかったが汗ばむくらいで、沢山着込んでいた私はいっきに2枚脱いだ。

途中湘南ナンバーの車が数台追い抜いたがそのうちの一台が路肩に駐車していた。ここから登山するのかと思ったら、ちょっと先で写真撮影の準備をしていた。「ここは富士山撮影のポイント?」の問いに「そうですね」の答え。たしかによく見えた・・・ここまで来て写真を撮るなら“紅富士”に間に合うようにもう少し早く来た方だがよいのに・・・とはその後で歩きながらの話。



途中ここは何処かと地図で確認しながら尺里峠に到着、計画では10時15分到着だったが約1時間早い。時間があるので標高569.3m第六天に行こうとしたが道がよく分からなかった。リーダーが林の中に入り探していたが峠の看板に100m先に絶景ポイントがあるとの小さい標識を薫さんが見つけ、リーダーを置いて行く。

その方向が第六天かと思ったが下り道ばかりで違うようだ。100mを超えたあたりで確かに富士山～箱根方面が見渡せる場所に着き写真撮影。道のすぐ下にピンクの実を盛大に付けた木があり名前を聞いたがよく分からなかった。(マユミでしょう)



尺里峠に戻り高松山へ向かう。やっと山道になった。尺里峠の看板ではこの道は“はなじょろ道”と言うそうだ。“はなじょろ道”とは帰ってネットで調べると“花女郎路”で昔は松田虫沢と山北八丁を結ぶ道で“花女郎=花嫁”も通っていたことでこの名前になったとのこと。

歩き易いならかな道で途中平坦地などにはその地にふさわしい？名前が付けられ(“富士見台”“桜平”“真弓ヶ丘”等)看板もありよく整備されている。整備したグループは“虫沢古道を守る会”と言うらしい。

真弓ヶ丘の看板で先ほどの尺里峠先の富士山絶景ポイントで見たピンクの実を付けた木が真弓と言う名の木であることを知った(また一つ偉くなった)。歩き易い道を快調に進む。林の中にはミツマタが咲いていた。去年4月のミツバ岳で見たものだ。そう言えばミツバ岳と高松山は丹沢湖を挟んで近い。

高松山山頂手前で道が“男坂”“女坂”に分かれていた。女坂は回り道とあり名の通り緩やかなのだろう。二手に分かれ、長谷さん・薫さんが女坂へ、他6名は男坂へ。男坂は直登ルートで急坂を登るとあっという間に頂上だ。女坂組も殆ど待つ間もなく到着(余り回り道でもなかったよう)。10時10分過ぎで予定より1時間近く早い。

富士山から相模湾・大島・利島まで見渡せる広々とした山頂だ。おまけに快晴・無風状

態でのんびり出来そう。何組かの登山者がいたが、ここまで殆ど人に合わなかった。この整備された道で、この景色で、この天気で、この近さでこれだけしか人がいないとはもったいない。一頻り周りを見たりしたがすることもなく、早めの昼食となった。

今回は希望者は“鍋焼きうどん”と言うことで、鍋やきうどん・カレーうどん・年越しうどん・カップラーメンありで、ガスコンロで暖かいものを美味しく頂いた。いつものように差し入れもあり、リーダーの焼肉は本当にご馳走様でした。今回の昼食の特筆は、長谷さん持参のガスコンロ。コールマン製でガス容器が空色。

30年前に旦那様が愛用していたものだそうで、ガスはもう売ってなく今日のガスが無くなったらお仕舞いとのこと・・・本当にうどんを作っている最中にガス切れ（これも帰ってネットで調べたら2006年に製造中止になったそうです）。

食事後天気が良く温かいし、朝も早かったので昼寝でもと横になったが頭の近くでの話声で眠れませんでした。時間もあるので、地図と実際の地形を見比べ御殿場線は何処を走っているのか、相模湾の前の街は何処かなど地図読み訓練。



集合写真を撮りいよいよ下山、時間は11時半過ぎ、予定よりやはり1時間位早い。下りはじめは快適な道だったが、しばらくすると私の嫌いな根っこだらけの道となった。躓きそうだし、歩幅も段差もめちゃくちゃだし。まるで乙女峠から金時神社の道のような。その次は階段である。相当長い階段でこれが登りだったら結構大変だろうなと思っているうちに“ビリ堂”着。ここまでの道標は金が掛かっている。

模造木製に行先などが彫り込んであり、白いプラスチック板の文字がはめ込まれていた。中にはその上を透明板で覆っているものもあった。が、“ビリ堂のいわれ”の説明看板を見るとこれが貧弱、建てた人（団体）が違うのだろうが余りの差があり過ぎる（ちなみに“ビリ堂”の“ビリ”とは最後のつまり“ビリッケツ”と意味だそうで、最後にある観音堂のためこの名前になったと説明看板にあった）。

この先の道は落葉が覆っている道で歩き易いと思ったがその下に結構石があり歩きづらいところも多かった。どんどん歩き農道に出る。途中みかんがなっているところがあり、放置状態であったので少し失敬してみた。皮が異常？に固く、袋の皮も固かったが味はまあまあだった。キウイも落ちていた（野生化している？）。

途中で農道を離れショートカット、東名のすぐ上に出る。ここまでくればあとわずか、朝通った東名をくぐる道路に出た。時間は1時少し前、ここからまたショートカットすべく駅方向に家の間の道を進む。このまま行けば予定の電車の1本前の電車に乗れそうだが（この時間は御殿場線電車が極端に少なく予定の電車までは1時間半の間隔がある）。早く帰りたい人は速足で進む。朝通った県道に出たらもう駅はすぐである。朝も人通りはなかった

が、昼日中も人に合わなかった。結局駅についたのは発車20分前（発車時刻は1時34分）悠々でした。早く帰った人は、室伏・秋山・峰田・長谷の4氏。

後に残った4名は、駅裏にある町営健康福祉センターの温泉（人工の温泉）“さくらの湯”（400円）で汗を流して予定通りの電車（発車時刻15時05分）でグッスリ寝て（恥ずかしいことに、涎や鼻水をたらしていたそうです）帰りました。温泉は普通であったが公営でピアを売っていなかったのは残念。

今回の今年初めの山行は、本当に天気恵まれ1月とは思えない中での適度な？（少し物足りなかった人もいたのでは）運動でした。今年も元気でやろうとルンルン気分で見えました。



カレーうどんは邪道??!!



記念撮影



電車で行く山

